株主の皆様へ

第72期中間事業のご報告

2022年4月1日から2022年9月30日まで



福留八厶株式会社

証券コード2291

CONTENTS

株主の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
当中間期の概況	2
セグメント別の概況	3
セグメント別売上高	3
通期の見通し	4
中間連結財務諸表	5
会社概況	8
株式概況	9

株主の皆様へ



代表取締役社長 福 原 治 彦

株主の皆様には、ますますご清栄のこと と拝察申しあげます。平素は格別のご支援 を賜わりあつくお礼申しあげます。

ここに第72期中間事業のご報告をお届け いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも なお一層のご支援、ご指導を賜わりますよ うお願い申しあげます。

2022年12月

当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に和らぎ始め、行動制限の緩和や個人消費の持ち直しの動きなど経済社会活動に回復の兆しが見られました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢の長期化の影響に加え、為替相場における急激な円安に伴うエネルギー価格や原材料価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。当業界におきましては、原材料費やエネルギーコスト、物流コストなどの上昇が企業収益を圧迫しており、物価上昇に伴う相次ぐ値上げや景気の先行き不安からくる消費者の節約志向は一層厳しさを増し、競合他社との価格競争の激化や人手不足等による労働コストの上昇などの影響もあり、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、今期を最終年度とした「中期経営計画2021年3月期 - 2023年3月期」において、「開発・調達・製造・物流・販売の連携強化を通じた相乗効果の創出」をテーマとして「商品開発の強化」、「販売戦略の構築と実行」、「新規市場へのチャレンジ」の三点に取り組んでおり、各重点施策の展開を積極的かつスピーディーに実行し、収益力向上と経営体質強化に努め、企業活動を推進してまいりました。

販売につきましては、2022年に発売70周年を迎えた当社オンリーワン商品である「花ソーセージ」のキャンペーン展開や「厚切りポークタン」や「厚切りカタロースハム」などを新たに発売し、生活様式の多様化に対応した商品展開や新商品の開発など販売強化を図ってまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、121億13百万円(前年同期は122億64百万円)となりました。利益につきましては、営業損失は1億79百万円(前年同期は営業損失1億91百万円)、経常損失は1億57百万円(前年同期は経常損失1億62百万円)となりました。中間純損益につきましては、親会社株主に帰属する中間純損失は1億70百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失1億20百万円)となりました。

セグメント別の概況

●加工食品事業

加工食品事業につきましては、様々な食料品の値上げが続き節約志向が高まるなか、家庭用大容量商品としてウインナー群の大袋商品や新たに発売を開始した「厚切りポークタン」や「厚切りカタロースハム」などが堅調に推移いたしました。しかしながら、同業他社との価格競争の激化や市場への定着に時間を要した価格改定商品が伸び悩み、売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は52億36百万円(前年同期は54億16 百万円)となりました。

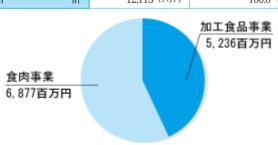
●食肉事業

食肉事業につきましては、国産・輸入牛肉ともに量販店向けの販売が低調に推移したものの、国産牛肉の販売単価の上昇や外食産業向けの販売が前年に比べ好調に推移したことなどにより、牛肉全体の売上高は増加しました。豚肉につきましては、取扱商品の見直しやブランド豚の販売強化を図るなど、国産豚肉の売上高は増加いたしました。その一方で、輸入豚肉は引き続き海外の現地価格高騰や為替変動等の影響により売上高は減少するなど、豚肉全体の売上高は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は68億77百万円(前年同期は68億47 百万円)となりました。

セグメント別売上高

区 分	売 上 高	構 成 比
加工食品事業	5,236 百万円	43.2 %
食 肉 事 業	6,877 百万円	56.8 %
合 計	12,113 百万円	100.0 %



通期の見通し

通期の見通しにつきましては、コロナ禍における行動制限の緩和や個人消費の持ち直しの動きが見込まれる一方で、ロシア・ウクライナ情勢の動向や急激な円安進行による原材料価格の上昇や原油価格の高騰など、経営環境は大変厳しい状況で推移するものと予測されます。

このような状況のなか、当社グループは、引き続き中期経営計画に基づいた「商品開発の強化」、「販売戦略の構築と実行」、「新規市場へのチャレンジ」の三点に取り組み、各重点施策の展開を積極的かつスピーディーに実行し、収益力向上と経営体質強化に努め、様々な需要に対応した商品展開や既存商品のブラッシュアップを充実させ、販売強化を図ってまいります。

また、下期における収益の重要ポイントとして位置づけているお歳暮商戦につきましても「ロマンティック街道」シリーズに新たなラインアップを増やすなど主力商品の販売に注力するとともに、加工品の生産性向上等の構造改革による収益性のさらなる向上に努め、体質強化に取り組んでまいります。

通期の連結業績につきましては、売上高は240億円 (前期は244億円)、営業損失は2億90百万円(前期は営 業損失3億72百万円)、経常損失は2億50百万円(前期 は経常損失3億27百万円)、親会社株主に帰属する当期 純損失は2億70百万円(前期は親会社株主に帰属する当 期純損失7億18百万円)を予定しております。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

	当中間期	前中間期	前 期
科目	2022年9月30日現在	2021年9月30日現在	2022年3月31日現在
資産の部			単位: 百万円
流動資産	5,691	6,251	5,918
固定資産	8,383	9,324	8,534
有形固定資産	6,111	6,850	6,143
無形固定資産	112	132	123
投資その他の資産	2,159	2,341	2,267
資産合計	14,075	15,575	14,452
負債の部			
流動負債	7,077	7,238	6,974
固定負債	3,781	4,231	4,026
負債合計	10,859	11,470	11,001
純資産の部			
株主資本	2,686	3,454	2,857
資本金	2,691	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503	1,503
利益剰余金	△1,427	△659	△1,256
自己株式	△80	△80	△80
その他の包括利益累計額	528	649	593
その他有価証券評価差額金	527	658	604
退職給付に係る調整累計額	1	△8	△11
非支配株主持分	0	0	0
純資産合計	3,216	4,105	3,451
負債・純資産合計	14,075	15,575	14,452

⁽注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

中間連結損益計算書

当中間期 前中間期 前 期 2022年4月1日から 2021年4月1日から 2021年4月1日から 科目 2022年9月30日まで 2021年9月30日まで 2022年3月31日まで 売上高 12,113 12,264 24,420 売上原価 10,161 10,352 20,611 売上総利益 1,952 1,912 3,808 販売費及び一般管理費 2,131 2,103 4,181 営業指失 179 191 372 営業外収益 71 79 145 営業外費用 49 50 100 経常損失 157 162 327 特別利益 54 186 特別損失 550 税金等調整前中間 692 157 107 (当期) 純損失 法人税、住民税及び 12 13 26 事業税 中間(当期)純損失 170 120 718 非支配株主に帰属する 0 0 0 中間(当期)純利益 親会社株主に帰属する 170 120 718 中間(当期)純損失

⁽注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

●中間連結キャッシュ・フロー計算書

	当中間期	前中間期	前 期
科目		2021年4月1日から 2021年9月30日まで	
			単位:百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	△160	70	205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△180	△47	△198
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156	△198	△337
現金及び現金同等物の増減額	△497	△175	△330
現金及び現金同等物の期首残高	2,184	2,515	2,515
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,686	2,339	2,184

⁽注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

会社概況

●会社概要

(2022年9月30日現在)

設 立 1958年3月22日

資本金 26億9,137万円

従業員数 連結370名

本 社 広島市西区草津港二丁目 6 番75号 支 店 広 島・山 口・岡 山・松 山

高 松・北九州・福 岡・佐 賀

大 分・熊 本

営業所 呉・松江・徳島・長崎

熊本南・鹿児島・宮 崎

流通営業部 中四国・九 州・関 西・関 東

工 場 広島・熊 本・岡 山 直 販 店 舗 外食:(焼肉一番団楽)

千田店・草津南駅前店

LECT店

精肉: 到津店・砂津店・太宰府店

●役 員

(2022年9月30日現在)

代表	き取	締行	安 会	長	中	島	修	治
代表	き取	締行	设社	長	福	原	治	彦
専	務	取	締	役	目	貫	啓	治
常	務	取	締	役	砂	田		誠
常	務	取	締	役	末	岡	正	美
取約	帝 衫	と相	談	役	福	原	康	彦
取		締		役	草	場	利	行
取		締		役	原		孝	司
取		締		役	越	智		貢
取		締		役	中	野	千	秋
常	勤	監	查	役	吉	田	裕	$\vec{-}$
常	勤	監	查	役	明	石	嘉	典
監		查		役	池	村	和	朗
監		査		役	近	藤	敏	博

株式概況(2022年9月30日現在)

(自己株式

●株式の状況

① 発行済株式の総数

3,336,970株63,030株を除く。)

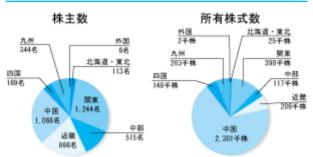
② 株主数

4,325名

●大 株 主

株 主 名	大株主の当社への 出資状況
	持 株 数 持株比率
	千株 %
株式会社福留興産	750 22.50
福 栄 会	348 10.44
福原康彦	130 3.91
福原美紀子	94 2.83
中 島 章	80 2.41
新 田 恵 美 子	79 2.39
中 島 修 治	78 2.34
株式会社フジ	63 1.89
株式会社もみじ銀行	62 1.87
福 原 治 彦	61 1.86
株式会社広島銀行	48 1.45

●地域別株式分布状況



株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定 時 株 主 総 会 毎年6月中に開催

剩余金配当株主確定日 期末配当金 3月31日

日 定時株主総会については毎年3月31日 基 淮

その他必要あるときは、公告して定めた日

中間配当金 9月30日

公告 方法 電子公告

(アドレス http://www.fukutome.com) ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告をすることができ ない場合は、日本経済新聞に掲載いたしま

す。

貸借対照表及び捐益計算書については、 EDINETに掲載いたしております。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店

郵便物送付先 〒168-8620

お問合せ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部

(各種届出用紙のご請求・その他のご照会) 0000120-707-843

上 場 取 引 所 東京証券取引所スタンダード市場 証券コード (2291)

単 元 株 式 数 100株